

蛾、ゴキブリ、とクリスチャンの歩み

エペソ書 5:1~14

「人は、新しく生まれなければ、神の国を見ることはできません。」 ヨハネの福音書 3:3

座る: 私たちを「キリスト・イエスにおいて...ともに天の所にすわらせてくださいました。」エペソ 2:6

立つ: 「堅く立つことができますように、神のすべての武具をとりなさい。」エペソ 6:13

歩む: 「愛のうちに歩みなさい。」エペソ 5:2
「光の子どもらしく歩みなさい。」エペソ 5:8

模範と愛情 「愛されている子どもらしく、神にならう者となりなさい。」エペソ 5:1

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」ヨハネの福音書 3:16

1 愛のうちに歩め エペソ 5:1-7

A イエス・キリストの愛 エペソ 5:1-2
1 ヨハネの手紙 4:9-12

1 ヨハネの手紙 3:16 「キリストは、私たちのために、ご自分のいのちをお捨てになりました。それによって私たちに愛がわかったのです。ですから私たちは、兄弟のために、いのちを捨てるべきです。」

B まがった愛 エペソ 5:3-7

2 光の子供らしく歩め エペソ 5:8-14

A 暗闇 エペソ 5:8

B 光の子どもらしく... エペソ 5:8; 14 エペソ 5:9; 10; 11-12

マタイの福音書 5:14-16 「あなたがたは、世界の光です。山の上にある町は隠れる事ができません。また、あかりをつけて、それを柀の下に置く者はありません。燭台の上に置きます。そうすれば、家にいる人々全部を照らします。このように、あなたがたの光を人々の前で輝かせ、人々があなたがたの良い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」

蛾か? ゴキブリか?

ヨハネの福音書 3:19-21 「そのさばきというのは、こうである。光が世に来ているのに、人々は光よりもやみを愛した。その行いが悪かったからである。悪いことをする者は光を憎み、その行いが明るみに出されることを恐れて、光のほうに来ない。しかし、真理を行う者は、光のほうに来る。」

1 ヨハネの手紙 1:6-7 「もし私たちが、神と交わりがあると言っているが、しかもやみの中を歩んでいるなら、私たちは偽りを言っているのであって、真理を行ってはいけません。しかし、もし神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩んでいるなら、私たちは互いに交わりを保ち、御子イエスの血はすべての罪から私たちがきよめます。」

蛾か? ゴキブリか? → いいえ...!!! → 神様のこどもです! エペソ 5:1(a)!!

エペソ 5:14 「こう言われています。『眠っている人よ。目をさませ。死者の中から起き上がれ。そうすれば、キリストが、あなたを照らされる。』」



- どのようにして他の人に愛を示しているか。
- 自分の心・生活の中で、どのような暗いところがまだあるだろうか。どうすればいいだろうか。

→ 1 ヨハネの手紙 1: 5-9 参照